

あなたは、あなたのままでいい

ドキュメンタリー映画

笑いのたね

生きづらさを抱えた人たちの居場所
「ワラタネスクエア」

都鳥伸也監督作品



企画・製作 都鳥拓也 都鳥伸也

監督:都鳥伸也 撮影・編集:都鳥拓也 サウンドデザイン:若林大介

応援スタッフ:藤崎仁志(現場録音) 高橋英樹(撮影) 岩永知佳子(撮影)

タイトルデザイン:堤岳彦(ebc) 宣材デザイン:高橋明音 AIRHUNCH

エンディングテーマ

『たいとう』

歌:なかのひろと 作詞・作曲:中野寛人

製作・配給:ロングラン 映像メディア事業部

ドキュメンタリー映画「笑いのたね」公式HP: https://longrun.main.jp/warai_tane/index.html



生きづらさを抱えた人々が笑いあい、つながっていく —— そんな“居場所”のものがたり

人口9万人の地方都市・岩手県北上市。

その商店街の一角に、不登校・ひきこもり・ニートなどの生きづらさを抱えている人たちが気楽にふらっと立ち寄れる居場所『ワラタネスクエア』がある。

ワラタネスクエアは、「誰も排除しない、否定しない」をモットーに、生きづらさを抱えて居場所を探している人たちに、何かをしても、何もしなくても大丈夫な「ただ静かに座っているだけでも尊重され、自由にリラックスして過ごせる居場所」を提供している施設である。そんなワラタネスクエアを立ち上げた後藤誠子さんも不登校・ひきこもりを経験した息子を持つ母親の一人だった。

この映画は、ワラタネスクエアに集う人たちが、互いに笑いあい、つながっていく心の回復の物語である。

ひきこもり支援の新たなキーワードとなった「自律」。後藤誠子さんは、「自分のやりたいことをやる」という形でそれを実践し、それが不登校だった息子さんの「自律」にもつながりました。「笑いの種」は「自律の種」でもあったのです。私の故郷である北上市に、こんな素敵な居場所があることを、心から誇らしく思います。

斎藤環(精神科医・筑波大学名誉教授・つくばダイアログハウス院長)



とても丁寧な時間を映画とともに過ごすことができた。
「私がやりたかったことををはじめたら次男が笑ったんですよ」
「日常にバカバナシができる場所がありますか」「対等に出会う楽しさを知ってしまった」
この映画はそのひとの生きた世界に触れながら、こころが楽になっていく言葉に出逢う旅になるだろう。

森川すいめい(精神科医・鍼灸師)

企画・製作:都島拓也 都島伸也
監督:都島伸也 撮影・編集:都島拓也 サウンドデザイン:若林大介
応援スタッフ:藤嶋仁志(現場録音) 高橋英樹(撮影) 岩永知佳子(撮影)
タイトルデザイン:堤岳彦(ebc) 宣伝デザイン:高橋明音 AIRHUNCH

エンディングテーマ
『たいとう』 作詞・作曲:中野寛人
歌:なかのひろと

製作・配給:ロングラン 映像メディア事業部

2026 年 完成披露上映会開催決定!! 会場 北上市文化交流センター さくらホール feat.ツガワ 大ホール

2月8日 日曜

時間 ①10:00開場 10:30開演 12:45終了(予定)
②13:30開場 14:00開演 16:15終了(予定)
料金 一般 前売り1000円 当日1200円
小中学生 500円(当日・前売り共通)

※映画の上映時間は約95分です。
※上映終了後、なかのひろとさんによるミニライブと、
後藤誠子さん(北上笑いのたね事業所所長)と
都島伸也監督によるアフタートークを予定しています。

主催:ロングラン 映像メディア事業部 共催:映画『笑いのたね』北上上映実行委員会 お問い合わせ:ロングラン 映像メディア事業部(0197-67-0714) プレイガイド:北上市文化交流センター さくらホール feat.ツガワ江釣子ショッピングセンターPAL